様式第9号の2(第42条関係)

年　　月　　日

　五所川原地区消防事務組合

　消防署長　　　　　　　　　　　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申告者　住　　所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　職業(職)　　　　電話

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　　名

動産り災申告書

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| １ | り災年月日 | 　　　年　　月　　日 | 物件と申告者との関係 | 所有者・管理者・占有者 |
| り災場所 |  |
| ２ | 世　　　帯　　　員 | 氏　　　　　名 | 続　柄 | 性別 | 職　業 | 生　年　月　日 |
|  |  |  |  |  | （　　歳） |
|  |  |  |  |  | （　　歳） |
|  |  |  |  |  | （　　歳） |
|  |  |  |  | 　　　 | （　　歳） |
|  |  |  |  |  | （　　歳） |
|  |  |  |  |  | （　　歳） |
|  |  |  |  |  | （　　歳） |
|  |  |  |  |  | （　　歳） |
| ３ | 火災保険の契約 |
| 契約会社名 | 契約年月 | 保険金額（万円） |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| ４ | り災物件 |
| 品　　　　名 | 数量 | り災別 | 損害見積額又は購入時価格(円) | ※査定額 |
|  |  | 焼損・水損・その他 |  | (使用　　年) |  |
|  |  | 焼損・水損・その他 |  | (使用　　年) |  |
|  |  | 焼損・水損・その他 |  | (使用　　年) |  |
|  |  | 焼損・水損・その他 |  | (使用　　年) |  |
|  |  | 焼損・水損・その他 |  | (使用　　年) |  |
|  |  | 焼損・水損・その他 |  | (使用　　年) |  |

(裏)

　動産り災申告書記載要領

（１の欄）

　物件と申告者との関係は、あてはまるものを○で囲んでください。

（２の欄）

　り災した世帯を構成する全ての人を記入してください。

（３の欄）

　１　火災保険の加入が数社ある場合は、全て記入してください。

　２　保険金額は、契約会社別に万単位で記入してください。

（４の欄）

　１　品名・数量の欄は、動産の品名ごとに数量を記入してください。

　　例）背広３、靴類３０、下着類５０、食器類１５０、本３００等

　２　り災別の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。

　　⑴　焼損：火災によって焼けたもの及び熱によって炭化、溶融又は破損したものなど。

　　⑵　水損：消火のために濡れたもの、壊れたもの及び汚れたものなど。

　　⑶　その他：煙で汚れたもの、運び出す時に壊れたもの及び避難する時に壊れたものなど。

　３　損害見積額又は購入時価格の欄は、り災した物件の使用年数等を考慮して、被害の程度により損害額を見積り、また、損害額が見積れない場合は、購入時の価格と使用年数を記入してください。

　４　※の欄は記入しないでください。

備　考　１　この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。

　　　　２　この申告書は、り災した建物1棟について1枚を使用してください。

　　　　３　この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。

　　　　４　この申告書でわからないことは、下記までご連絡ください。

消防署　　　　　　電話番号　　　　　　　　　（内線　　　　番）

調査担当者